

年休は消化できていますか？ 休日出勤を強要されていませんか？ 茹でガエルになっていませんか？

「年休」とは正式には「年次有給休暇」のことで、「有給」で休むことができる休暇です。

労働基準法(39条)には、「使用者は・・・有給休暇を労働者の請求する時季に与えなければならない」と定められています。しかしJR東海会社は様々な言い訳をして、私たちが時季指定した日に年休を付与していません。その結果、多くの社員が年休を失効する事態になっています。年休を失効してしまうということは、本来もらえる休みとお金がもらえないということです。その金額は、春闘での賃上げ額の何十倍にもなります。

時季指定した日が公休や特休になっていませんか？

今職場では、「毎月10日に行われていた休日指定予定日の公表が打ち切られて以降、年次有給休暇申込簿に申し込んだ日に公休や特休が指定されるようになった」「おかげで年休が消化できない」「今年も年休が失効して(流れて)しまう」という声が相次いでいます。

会社は常々、「世間水準を大幅に上回る数の年休を取得している」と言ってきましたが、それは一定の年休を出すため社員に、「黙って言うことを聞け」と言わんばかりに休日出勤の強要を行いそれに従わせてきたからです。

一方的に休日出勤をさせられていませんか？

さる9月13日、会社は各労働組合に「お知らせ」という一方的なやり方で、全新幹線乗務員を対象に1泊から2泊(2~4日)の休日出勤を強要してきました。

言うまでもなくそれは、「過去の実績以上の年休失効が予想していた以上に発生する」ことをごまかすためです。

年休の失効(抑制)と休日出勤が当たり前にしたい会社！

会社は、年休の失効と休日出勤が当たり前を感じる社員をつくらうとしているのです。そして、更なる要員削減・労働強化・経費の削減を実現しようとしているのです。

私たちは茹でガエルにならない！

会社は今日まで様々な施策を強行して、要員削減・労働強化・経費(諸手当)の削減を行ってきました。休日出勤については、「解消の方向で・・・」などと嘘をつき続け、一方的に休日出勤を指定し続けてきました。そして私たちを茹でガエルにしようとしてきたのです。

私たちは茹でガエルになりません。もう我慢の限界です。

こんなことでは乗客と私たちの命は守れません。

私たちは年休の失効と一方的な休日出勤に反対します！